



やさしい手通信

2021年 2月



令和3年度介護報酬改定の単位数が発表されました～居宅介護支援編～

1 質の高いケアマネジメントの推進（特定事業所加算の見直し等）

【概要】

経営の安定化、質の高いケアマネジメントの一層の推進を図る観点から、特定事業所加算について、以下の見直しを行う。

ア、必要に応じて、多様な主体等が提供する生活支援のサービス（インフォーマルサービスを含む）が包括的に提供されるような居宅サービス計画を作成していることを要件として求める。

イ、小規模事業所が事業所間連携により質の高いケアマネジメントを実現していくよう、事業所間連携により体制確保や対応等を行う事業所を評価するような区分を創設する。

ウ、特定事業所加算（Ⅳ）について、加算（Ⅰ）から（Ⅲ）までと異なり、病院との連携や看取りへの対応の状況を要件とするものであることを踏まえ、医療と介護の連携を推進する観点から、特定事業所加算から切り離れた別個の加算とする。

【単位数】

<現行>

<改定後>

特定事業所加算（Ⅰ） 500単位/月⇒ **特定事業所加算（Ⅰ） 505単位/月**

特定事業所加算（Ⅱ） 400単位/月⇒ **特定事業所加算（Ⅱ） 407単位/月**

特定事業所加算（Ⅲ） 300単位/月⇒ **特定事業所加算（Ⅲ） 309単位/月**

なし ⇒ **特定事業所加算（A） 100単位/月（新設）**

特定事業所加算（A） 100単位/月とは（主な要件）

○専ら指定居宅介護支援の提供に当たる常勤の主任介護支援専門員を配置していること→1名

○専ら指定居宅介護支援の提供に当たる常勤の介護支援専門員を配置していること→常勤：1名以上・非常勤：1名以上（非常勤は他事業所との兼務可）

○時間連絡体制を確保し、かつ、必要に応じて利用者等の相談に対応する体制を確保していること→連携でも可

○当該指定居宅介護支援事業所における介護支援専門員に対し、計画的に研修を実施していること→連携でも可

○介護支援専門員実務研修における科目「ケアマネジメントの基礎技術に関する実習」等に協力又は協力体制を確保していること→連携でも可

○他の法人が運営する指定居宅介護支援事業者と共同で事例検討会、研修会等を実施していること→連携でも可

○必要に応じて、多様な主体等が提供する生活支援のサービス（インフォーマルサービス含む）が包括的に提供されるような居宅サービス計画を作成していること→特定事業所加算（Ⅰ）～（A）すべてに適用

【特定事業所医療介護連携加算】（現行の特定事業所加算（Ⅳ）と同じ）

<現行>

<改定後>

特定事業所加算（Ⅳ） 125単位/月→ 特定事業所医療介護連携加算125単位/月

（1）前々年度の3月から前年度の2月までの間において退院・退所加算の算定に係る病院等との連携の回数（情報の提供を受けた回数）の合計が35回以上

（2）前々年度の3月から前年度の2月までの間においてターミナルケアマネジメント加算を5回以上算定

（3）特定事業所加算（Ⅰ）～（Ⅲ）を算定していること

ここがポイントです



比較的、小規模な事業所でも、特定事業所加算（A）を取得できるようになったのね！！

すべての特定事業所加算に、生活支援サービス（インフォーマルサービス）が包括的に提供されるケアプランの作成をする要件があらたに追加されたのもポイントですね



★ 今日は何んの記念日?? ★



2月9日

河豚(フグ)の日

1980年(昭和55年)に、下関ふく連盟が定めた。「ふ(2)く(9)」の語呂合わせ。下関では、河豚は「ふく」と発音する。他に、「ふぐの日：9月29日」「とらふぐの日：10月29日」「いいフグの日：11月29日」なども。

服の日

1988年(昭和63年)に、全国服飾学校協会・日本ファッション教育振興協会などが定めた。「ふ(2)く(9)」の語呂合わせ。他に、「洋服記念日：11月12日」「いい服の日：11月29日」なども。

2月22日

世界友情の日/国際友愛の日

1963年(昭和38年)の第19回世界スカウト会議で定め、1965年(昭和40年)から実施。ボーイスカウト・ガールスカウトの創始者ベデン・パウエル卿(B-P)夫妻の誕生日にちなむ。

猫の日

1987年(昭和62年)に猫の日制定委員会が定めた。ペットフード工業会が主催。2月22日の「222」を、猫の鳴き声「ニャン・ニャン・ニャン」とした語呂合わせ。



納豆ワンタン鍋

材料(2~3人分)

豚ひき肉…50g 納豆…1パック 長ねぎ…1/3本
白菜…1/6株 水菜…1/3わ にんじん…1/2本
ワンタンの皮…10枚



スープ

・だし汁…5カップ ・塩…大さじ1/2 ・みりん…1/4カップ ・ごま油…大さじ1



【作り方】



1、納豆は添付のたれを混ぜる。ねぎはみじん切りに、白菜は5cm長さの一口大に、水菜は5cm長さに切る。にんじんは7~8mm幅の拍子木切りにする。

2、ボウルにひき肉、1の納豆とねぎ、塩小さじ1/4を入れて混ぜ合わせる。10等分して、ワンタンの皮で包む。ひき肉に納豆を加えてワンタンの具に。納豆がボリュームアップと味出しの役割を果たす。



3、鍋にスープの材料を入れて火にかけ、煮立ったら1の残りの野菜と2を入れて煮る。

♡ お電話おまちしております ♡



やさしい手仙台ケアセンター宮城野

ホームページ <http://www.yasashiite-sendai.jp>

TEL 388-8221 FAX 388-8222



【ホームページ】